

# 第46回 由仁町夏まつり <sup>ムカデ</sup> 百足競走 開催要項

## 1 趣旨

『百足競走』を通じて、町内外からの参加者及び来場者すべてが協和し、健やかな交流の輪を拓げるとともに由仁町から北海道を元気にする原動力を見出すことを目的とする。

## 2 主催

由仁町夏まつり実行委員会

## 3 日時・場所

- \* 令和5年7月30日(日) 午前10時から
  - \* 町道由仁東1条線(文化交流館・げんき館前)
  - \* 日程 9:00～ 受け付け・オーダー表提出
  - 9:30～ 監督会議
  - 10:00～ 開祭式
  - 10:30～ 一般男子・女子の部(100m) 予選レース
  - 12:00～ 昼食
  - 13:00～ カルガモの部(30m)
  - 13:30～ ちびっこレース(100m)
  - 14:00～ 一般女子の部(100m) 決勝レース
  - 14:10～ 一般男子の部(150m) 決勝レース
  - 14:30～ 表彰式
- (但し、参加チーム数により若干の時間変更がある)

## 4 競技規定

- ・ 1組3チーム以内のタイムレースとする。
- ・ タイムはスタート後、チーム全員(伴走者も含む)がゴールラインを通過した時点をもって計時する。
- ・ ロープの太さ・長さ・間隔は自由とし、しぼる位置は足首とする(但しケガ防止からゴムのように伸縮性の高いものは禁止する。)
- ・ 競技中ロープがとけた場合は、その時点で直してから出発する。
- ・ 各チームの先頭および最後尾にチーム名を表示する。
- ・ チーム編成は選手だけでも認める。この場合、監督は選手が兼ねる。

### A 一般男子の部(中学生以上) ※男女混成の場合は一般男子の部とする。

- ・ 予選レース、決勝レースが行われる。距離は予選レース100m、決勝レース150mとする。1チーム10名とし、監督1名、伴走者1名、選手6名、補欠2名とする。同タイムの場合は平均年齢の高いチームを勝ちとする。決勝は、予選レースタイム上位3チームが進出出来る。

B 一般女子の部(中学生以上)

- ・ 距離は100mとする。1 チーム 10名とし、監督 1 名、伴走者 1 名、選手6名、補欠 2 名とする。同タイムの場合は平均年齢の高いチームを勝ちとする。

C ちびっこの部

- ・ 男女を問わず、選手は小学生のみとする。
- ・ 距離は100mとする。1 チーム10名とし、監督 1 名、伴走者 1 名、選手6名、補欠 2 名とする。また、ちびっこの部に限り伴走者以外の大人の補助及び補欠選手の伴走を認めるもの(必ず自チームの後ろを走ること)とする。タイムは伴走者と選手6名がゴールラインを通過した時点でゴールしたものとみなす(大人の補助及び補欠選手の子供の伴走はタイムには含めない)。
- ・ 1 組 3 チーム以内のタイムレースとする。同タイムの場合は、チーム全員(伴走 1 名、選手 6 名)のジャンケンにより決する。
- ・ 服装は自由とするが、肩・ひじ・ひざを露出してはならない。
- ・ 危険防止のため、保護者を 1 名つける。

D カルガモの部

- ・ 距離は30mとする。参加選手は満 3 歳以上の未就学児と保護者のペアで行う。
- ・ ロープの輪に入って、ロープの輪を持ちながらゴールを目指す。
- ・ このロープの輪は夏まつり実行委員会で作成する。
- ・ 1 組 3 チーム以内の出走とし、出場する子供全員にお菓子をプレゼントします。
- ・ お菓子はゴール地点でお渡しします。

〈隊列〉

←向き

①②③④⑤

5 賞

A ア、一般男子の部・一般女子の部

- ・ タイム入賞は男女各上位 3 チームとする。
- ・ 持ち回り優勝祥天は最優秀チーム(最高タイムチーム)に授与する。

イ、ちびっこの部

- ・ タイム入賞は上位 3 チームとする。
- 1 位 図書カード 8 枚、お菓子
- 2 位 図書カード 8 枚、お菓子
- 3 位 図書カード 8 枚、お菓子

B お楽しみ賞

A の賞に該当しなかった一般男子・女子チームに抽選で景品が当たります。

C 参加賞

由仁町夏まつり大ビンゴ大会のビンゴカードをお渡しします。

## 6 注意事項

- 服装は自由とするが、裸や軽装での参加は禁止とし、各チームプロテクター等を着用し危険防止に十分注意する。実行委員で危険と判断した時は出走を禁止することがある。
- 各チームは出走10分前までにスタート地点に集合し、出走時までにスタート準備を完了させること。
- 競技中故意に他のチームを妨害してはならない。
- 各チームは係員の指示に従うこと。
- 抗議は監督を通じ、審判長に申し出る。
- 競技中の事故については、実行委員会で加入する傷害保険以上の責任は負いかねるので、各自で必要な補償のついた傷害保険に加入すること。

以上に反した時は、失格とする場合もある。

※ 緊急事態発生時はただちに競技を中断し、係員の指示に従うこと。